

新しい市政を新しい市長と

生活の厳しさと喜びを知る 女性の市長の 出番です。

流山市の方針「選択と集中」は、市内に大きな発展の格差を生みました。私は、この方針を転換し、市内全体がバランスよく発展する流山市を地域の皆さんと共につくります。

「母/父になるなら流山」「子育てするなら流山」、本当にそうですか？ そうなら、なぜ流山市でいじめや不適切指導が裁判にまでなり、市が敗訴するのでしょうか。中学生たちが命を絶ち、虐待を理由とした逮捕が起きるのでしょうか。宣伝ではなく、流山市の現実に目を向ける必要があります。

私は「みんなのサポート・センター(仮称)」を新設し、子ども、家族、一人ひとりの様々な相談、支援、保護を行い、質の高さを実感できる支援を実現します。

政策秘書としてDVや虐待の問題に取り組みました。尊厳を傷つける虐待(子ども、高齢者、障がい者)や重大ないじめは市長直轄で対応し、専門家の力も借りて問題解決にあたります。

人口増加率全国1位。大型商業施設や大型道路の開発が実施された流山市は、校庭や図書館を自由に使うこともできないような超・超過大規模校の出現、地域格差、ゴミ増大、緑地激減、渋滞といった様々な開発の副作用を生んでいます。※1994年から2021年に田は1/3、畑や森林は1/2に。

いま、一度立ち止まり、未来に向けて流山市を点検しよう。
それができるのは新しい市長。
生活の厳しさと喜びを知る女性の市長の出番です。

流山市長選挙 候補者

〈市民団体代表〉

上田恵子



◀ ホーム
ページ



◀ Insta



◀ Twitter



◀ Youtube

マニフェストの詳細や上田恵子の
人となりは …… ホームページへ

» <https://uedakeiko.org>

上田恵子後援会 080-4757-1516

上田恵子が市長として取り組みたいこと

■流山市全体のバランスある発展と緑を守る

- 現行の方針「選択と集中」を転換し、市内全体のバランスある発展を地域の皆さんと実現する。
- 緑地確保のため、他の市長・区長らとともに生産緑地への税軽減策の実施を国に求める。

■「母／父になるなら流山」を実感する質の高い家族支援策

- 「みんなのサポート・センター(仮称)」を新設。一人ひとりに質の高い支援、保護を実現。
- 重大ないじめや虐待(子ども・高齢者・障がい者)は市長直轄で対応する。
- 市長任命の巡回保育指導者が保育園・幼稚園・こども園の相談役となり質を確保する。
- 高校生の医療費を300円に。
- 誰でも使える教育関連費用(修学旅行等)貸付制度をつくる。

■未来をみすえた質を実感する公立学校に

- 管理教育から転換し、自ら考え、判断し、協力できる人を育てる。
- 情報、消費者、金融等のリテラシーや人権、性教育を学ぶ環境をつくる。
- 入学前オリエンテーションや高校入試の情報分析・支援の質を向上する。
- 学校アンケートは、市長、副市長、教育長がすべて読み、教員と共に課題を解決する。

■誰一人取り残さないための一人ひとりへの支援

- 避難時にサポートが必要な方一人ひとりの避難計画を作成し、訓練を実施する。
- 障がいをもつ生徒の学校選択、多様なジェンダーへの対応など、当事者の自己決定を支援する。
- 物価の大きな変動時等に、60歳以上の世帯や年金生活者に経済支援する。
- 親亡き後も障がいをもつ方が安心して暮らせる制度と環境をつくる。
- 多様性を認め合い、パートナーシップ条例を制定する。

■認知症の方が安心して暮らせるまちづくり

- 介護を専門家に任せられるよう、市内の高齢者施設を整備・増設する。
- 市長任命の巡回指導者が高齢者施設を訪問し、共に課題の解決に努め、介護の質を確保する。
- 介護する人が休息できる環境づくり。

■もっともっと女性の力を引き出そう

- 子どもの教育費が最優先になる子育て「一段落」世代への奨学金制度をつくる。
- 女性の健康情報、健康診断、カウンセリングを実施する。
- 市役所幹部に女性の登用をすすめる。

■情報開示・公正な検証で行政を改善

- コロナ対応の検証を進め、次のパンデミックに備えて医療体制、危機管理体制を改善する。
- 指定ゴミ袋の効果について検証を進め、改善する。



上田恵子

Ueda Keiko

プロフィール

1967年生まれ。慶應義塾大学法学部政治学科卒業。三和(現:三菱UFJ)総合研究所研究員。エセックス大学(イギリス)法学修士号取得。国会議員公設秘書・政策秘書13年間。うち4年間、山梨学院大学法学部非常勤講師兼務。第二子不妊治療のため退職。映画「みんなの学校」流山上映会代表。子どもの甲状腺エコー検査「健康調査TEAMながれやま」代表。「流山市の公立学校をよくする会」(南流山中移転先での私立中学校隣設の撤回)代表。社会福祉士。

<家族> 夫と息子(中2)、南流山在住。

最近ハマっていること

「孤独のグルメ」、縄文文化、サイクリング

頼れる市長になる。